

広報

にしあいづ



難関乗り越え 春が来た！

3月15日、西会津高校の合格発表が行われ、受験生に新たな「春」が訪れました。

正午、合格者一覧表が掲示されると、受験生が一斉に集まり、受験番号を探しました。

番号を見つけた受験生からは、「あった」という歓声とともに笑みがこぼれていました。

主な内容

- 真の豊かさを実感できるまちづくり..... P 2 ~ 3
～平成16年度町政執行基本方針～
- 3月議会定例会報告..... P 4
- 市町村合併の住民説明会が終了..... P 5
- ぼくたち わたしたち 新1年生..... P 6

Nishiaizu NO.546

2004 4月号

編集と発行 福島県耶麻郡西会津町役場

☎ 0241 - 45 - 4536 (企画調整課)

<http://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/>

真の豊かさを実感できるまちづくり

平成16年度町政執行基本方針

現在、経済や社会、行政などの様々な制度が時代の変化に対応できず、行き詰まりを見せていることから、社会全体が改革の時期を迎えています。

このような中、本年7月1日に町政施行50周年を迎える本町においては、『すべてにやさしい健康のまち にしあいづ』の理念のもと、常に新たな発想で町民の要望に的確に対応したまちづくりを進めてきました。

平成16年度も、引き続き町民1人ひとりの視点に立った町政運営を基本姿勢として、少子化や市町村合併、そして三位一体改革の問題などの課題に全力で取り組みながら、本町の持つ高い可能性を最大限に引き出し、真の豊かさを実感できるまちづくりを進めていきます。

農業の振興

健康な土づくりの推進は、推進員の養成、地産地消、高付加価値農作物の生産という点で一定の成果を見ました。

また、昨年度に整備した耐雪型パイプハウスでは、冬期間の農作物栽培が実証されたことから、もう一棟増設し、「通年農業の確立」へ向け活用してまいります。

本年度は、商業団地内にオープンする複合施設をミネラル農産物販売の拠点として、女性起業家を育成しながら、ミネラル農産物のブランド化を進めます。



土づくり推進員養成講座より

豊かなまちづくり

そのために、ミネラル野菜普及会や中核農家等による栽培普及促進はもちろん、構造改革特区の導入、生産組織の育成などを視野に入れながら、「生産性の向上と拡大」を目指します。

平成十四年度に決定した「米政策改革大綱」により、「売れる米づくり」が重要となつてきます。本町の農業は、稲作の依存度が高いことから、安定した経営を確立するために、ミネラル栽培により、安全・安心で、競争力のある米づくりに取り組んでいきます。中山間地域の農業の維持と

ミネラル農産物による農業の振興
複合施設を中心とした
魅力ある商店街づくり
ケーブルテレビ網を活用した
マルチメディアのまちを推進

商工業の振興

商業団地に完成した複合施設を中心に、商業団地と既存商店街が連携した魅力ある商店街づくりに向け、支援を行ってまいります。

また、女性起業家やIT(情報通信技術)を活用した起業家の育成を進めるほか、総合的な見地からの雇用創出と地域経済活性化を図るため、健康に関するサービスの提供を始めとする新たな産業の創出を推進してまいります。

マルチメディアのまちづくり

二十一世紀の高度情報化社会に対応するため、ケーブルテレビを活用して町独自のインターネット接続サービス事業を開始するなど、情報通信基盤の整備に努めてきました。

平成十六年度も、ITを活用したまちづくりのため、ケーブルテレビ網などの情報通信基盤をさらに有効活用して住民サービスの向上を図るとともに、企業の研究機関やベンチャー企業の誘致を進めていきます。

地域活性化のために、平成十六年度が最終となる「中山間地域等直接支払制度」の継続を国に要望してまいります。



パソコン講習会

生涯学習による人づくり
生涯スポーツによる健康づくり
時代に応じた学校教育
創造性を育む交流事業

生きがいのある町づくり

生涯学習の充実

町民のみなさんの学習意欲に応えるため、生涯学習センターとしての機能を持つ西会津中学校を積極的に活用し、「いつでも、どこでも、だれもが」学ぶことのできる環境づくりを進め、人間性豊かな人づくりと地域社会の活性化を図っていきます。

生涯スポーツの推進

生涯スポーツが、健康寿命の延伸や健全な地域社会づくりにだけでなく、町民の交流・親睦にも大きな役割を果たして

いることから、さらなる普及・拡大に努めていきます。

学校教育

課題の把握と研究により、個人や習熟度に応じた教育の充実を図ります。

また、児童生徒の自主的に学習する力を伸ばすとともに、国際社会へ対応できるよう語学教育の充実を図りながら、基礎学力の向上を図ります。情報化社会には、パソコン機器等の整備や指導者の充実を図り、対応していきます。

児童生徒の交流事業

児童生徒の豊かな人格形成のため、引き続き交流事業を実施していきます。

住みよい町づくり



家庭血圧測定事業

快適な生活基盤づくり
安全で快適な生活環境づくり
トータルケアの推進による
健康寿命の延伸
安心して暮らせる福祉のまちづくり

トータルケアの推進

昨年開催された「百歳への挑戦パート」で明らかになった「糖尿病」や「肺がん」、「高齢者の運動機能低下」等の新たな課題。これらに対処するため、辻一郎東北大学大学院教授の指導のもと、健康寿命延伸へ向け、「減量事業」、「家庭血圧測定事業」、「禁煙事業」、「運動教室」などを実施します。

さらに、食生活改善や在宅健康管理システムによる血圧

子育て支援

社会情勢の変化と多様なニーズへ対応するため、これまでの乳児保育や延長保育などによる子育て支援に加え、保育所の統合も含めた乳児教育・保育環境の検討を進めていきます。

また、四月一日から、社会保険加入者の乳児医療費を、町内医療機関に限り、無料としました。

ボランティア活動の推進

昨年七月に設立したボランティア活動サポートセンターには、現在、延べ百七十五人

道路網の整備

が登録し、福祉・保健・子育て支援等の幅広い分野で活動を始めています。平成十六年度は、登録者や活動分野を拡大し、きめ細かな活動を推進していきます。

町道は、「芝草橋屋線」、「野沢安座線」の平成十六年度完成を目指すほか、生活に密着した道路の整備を進めます。

縦貫道路は、早期完成へ向け、「野沢柴崎線」など計画区域路線の整備促進を図ります。

国道や県道の整備も、関係機関に積極的に働きかけていきます。

上下道の整備

公衆衛生の向上と生活環境の改善のため、計画的に整備を進めてきました。本年度も、山口、牛尾、出ヶ原地区の整備を進め、平成十七年度中の供用開始を目指します。

下水道の整備

新たに「野尻地区」の整備に着手するとともに、これまで下水道整備計画に含まれていなかった小規模地区を対象とした「個別排水処理事業」を、奥川地区を対象に、五十基の処理施設を整備します。

3月議会定例会報告

36議案すべてを原案どおり可決

三月議会定例会は、三月十二日から二十二日までの十一日間を会期に開かれ、条例の改正や平成十五年補正予算、平成十六年度予算など三十六議案が審議され、いずれも原案のとおり可決、同意されました。本号では町政主要事項の報告と可決、同意された議案についてお知らせします。

町政主要事項報告から

長期滞在型保養基地構想に係る予備交流について

本町では、冬期間の運動不足や塩分摂取の過多から、カルシウム不足や高血圧症、脳血管疾患の発症率が高い傾向にあります。

本事業は、高齢者を対象に、冬期間、温暖で自然豊かな沖縄県平良市に長期滞在し、これらの解消を図り、心身ともに「健康で長生き」できる健康寿命の延伸を目指すものです。

今回は、平成十八年度からの本格交流へ向け、町老人クラブとともに、地元地域住民と交流

を深めてきたところです。

医師の採用について

西会津診療所の常勤医師二人体制を確立するため、常勤医師を四月一日付で採用しました。

新採用の医師は、東京都出身の岡崎栄和氏で、内科を専門としています。

芸術村事業について

本事業は、旧新郷中学校を活用し、芸術を通しての交流と地域の活性化を図ることを目的としています。

事業の推進にあたり、検討を重ねた結果、北欧バルト三国の



一つである「リトアニア共和国」から芸術家二人を招くこととし、大使館を通じて募集活動に取り組んでいく予定です。

起業家養成講座について

IT（情報技術）を活用した起業家を育成するため、昨年十二月に、中学生を対象としたアントレプレナー（起業家）養成講座を、西会津中学校で開催したところです。

この講座が、受講生から大きな反響があったことから、平成十六年度は、一般社会人を対象とした起業家養成講座を開催する予定です。

高速バスストップについて

磐越自動車道西会津インター西側に、高速バスの乗入れへ向け、高速バスストップ等の整備を進めてきました。

四月一日からは、会津乗合自動車と新潟交通の二社が若松・新潟間を一日四往復する予定です。短時間かつ、低料金なことから利便性の向上や活発な物流が期待されます。

農業集落排水事業・野尻地区の新規採択について

上野尻及び下野尻地区を対象とする農業集落排水事業は、受益戸数が大規模なこと、公共施設があること、地元の受け入れ態勢が整っていることから、一年前倒しをし、平成十六年度からの事業着手を決定しました。

可決同意された議案

特別職及び職員の給与の特例に関する条例

町地域資源活用総合交流物産館条例

町個別排水処理事業にあたり特別会計を設置する条例

非常勤特別職の報酬額等に関する条例の一部改正

特別職及び職員等の旅費に関する条例の一部改正

町国民健康保険診療所条例の

一部改正（奥川診療所の設置）
町下水道条例の一部改正（野尻処理区の事業区域拡大による改正）

平成十五年補正予算（一般会計、工業団地造成事業特別会計、商業団地造成事業特別会計、住宅団地造成事業特別会計、下水道施設事業特別会計、農業集落排水処理事業特別会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、簡易水道等事業特別会計、水道事業会計）

平成十六年度予算（一般会計、工業団地造成事業特別会計、商業団地造成事業特別会計、住宅団地造成事業特別会計、下水道施設事業特別会計、農業集落排水処理事業特別会計、個別排水処理事業特別会計、老人保健特別会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、介護老人保健施設特別会計、簡易水道等事業特別会計、水道事業会計）

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定及び変更
町過疎地域自立促進計画の変更

人権擁護委員候補者の推薦（六月三十日に任期満了となることから、新たに沼澤望東子さん（牛尾）を推薦）

市町村合併の

住民説明会が終了

812人が参加し、貴重な意見や質問を発言

市町村合併に係る住民説明会は、昨年十一月二十六日から開始し、本年三月七日までに三十二の全会場を終了しました。説明会には合計八百二十一人の町民のみなさんが参加。多くの意見や質問が出され、合併問題への高い関心が伺われました。



住民説明会は町が開催し、町議会も一緒に参加する形で行われました。町側からは町長以下四役と総務課長、企画調整課長が説明のために出席し、町議会からは議長と副議長が交代で、また合併等特別委員会の委員長と副委員長が交代で出席しました。

説明会は、冒頭、町長が「合併が持ち出されてきた背景」について述べ、町議会からは町と一緒に説明会を行うことになった経過と特別委員会の報告があいさつの中で行われました。

その後、町の基本的考え方「合併を考えるポイント」合併による財政支援策」について企画調整課長より、「町の財政状況」について総務課長より説明があり、最後に助役から喜多方・耶麻地方の任意合併協議会の準備段階での経緯全般を説明しました。

説明の後、意見交換として参加者から意見や質問を出してもらいました。そこでの主な意見や質問は下のとおりです。なお、町のホームページ（<http://www.town.nishiazu.fukushima.jp/>）でも住民説明会の内容は公開しますので、ご覧ください。

合併に関して

判断をしてもらう

作業を進めていきます

住民説明会が終了しましたので、説明会の中でもお話ししていた資料の改訂版を早いうちに全戸に配布いたします。

現在、住民のみなさんが「合併をした方が良いか・しない方が良いか」を判断してもらうための方法を検討していますので、早い時期に決定し、みなさんに判断をしていただくこととしています。

説明会で出された主な質問

合併をするか・しないかの判断はどのような方法で行うのか。住民投票の考えは。判断をする期限はいつか。人口や税収が減少しても町は大丈夫なのか。合併しない場合、住民負担や喜多方広域圏での事業はどうなるのか。また、町の方針は。

「会津はひとつ」はどうなったのか。地方交付税が減っていくがこれまでの先進的施策は続けられるのか。後から合併の協議に入ることとは不利益にならないか。合併をした方が良いとなったら、町はどうするのか。なぜ、国は合併を進めようとしているのか。

主な意見

合併は期限にこだわらずに考えるべきだ。メリット・デメリットなど、判断するのもっと分かり易い資料が欲しい。地方の切捨て政策である合併には反対である。合併して良くなったところがないので、合併しない方が良い。合併の枠組みは、喜多方以外も考えて。維持経費の負担を少なくす

るため、隣接との合併を考えてみる必要があるのでは。人口が減り、農協も学校も合併した。後からあの時合併していればと言われないか。

過疎を進ませたくないのに、合併には反対だ。地方交付税が減っていく中でも、町の独自性は出して欲しい。

今後は、地域活性化の方策を町と住民の相互で決定していく必要がある。様々な改革とともに住民の意識改革もすべきだ。

人材育成のための費用は削減しないで欲しい。人口の減少が一番心配。人口を増やす政策に本腰を入れては。

町民に判断してくれと言われても責任が取れない。町と町議会で見解が一致するのなら、合併しないとして進めた方が良いのでは。住民投票や議会での自立宣言は、はじめがついて良いと思う。

税収、地方交付税が減少していくことは分かるので、組織改革、議員定数の削減をする必要があるのでは。合併によるサービスの低下など、デメリットが大きい。合併協議会に参加しなかったのは正解だ。

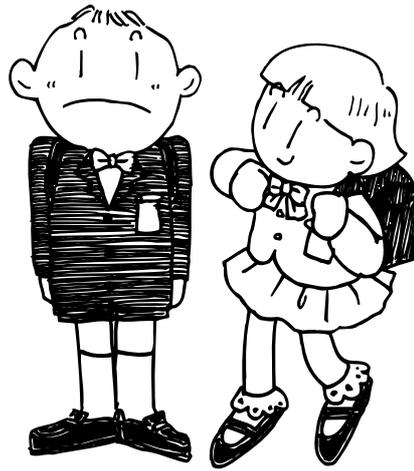


お兄さん、お姉さんが新入生を歓迎（奥川小学校旧入学式より）

ぼくたち
わたしたち

新一年生

4月は入学の季節。真新しいランドセルを背負い、町内の各小学校に新一年生が入学しました。今年入学した児童は、平成9年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた男子39人、女子30人の計69人です。初めての学校生活に胸をときめかせている子どもたちを紹介します。



新入学児童

〔3月29日現在・敬省略〕

野沢小学校 30人

地区 氏名（保護者）
一町内 高波 蓮（紀子）
松本かすみ（満）
二町内 若林 行（陽三）
三町内 山崎 雅朝（雅彦）
渡部 晋（哲夫）
四町内 大沼 愛喜（勝）
小林 琉平（博貴）
橋谷田聡史（辰郎）
樋口 洋祐（洋）
五町内 荒井 直樹（克巳）
白岩 美優（博也）
田部みさき（貴広）

尾野本小学校 19人

西原 佐々木菜汰（奈津枝）
萱本 齋藤 敬斗（敬顕）
鈴木 音杜（信昭）
須藤はるか（正光）
秦 優希子（貞継）
松尾 伊藤 美森（善文）
築田 智史（好造）
成田 真帆（信幸）
下小島 齋藤 美紅（章広）
西林 齋藤 千皓（隆一）
さりが丘 三瓶 千皓（隆一）
清田 舞弥（憲昭）
上小島 薄上 莉奈（文男）
佐藤 雄也（重雄）
山口 圭太（則夫）

新郷小学校 2人

呼賀 上野 隆平（新哉）
樟山 薄 俊平（敏彦）

奥川小学校 8人

塩 伊藤 洸人（武美）
下松 井上 彩花（英子）
山浦 小林あゆみ（豊）
中町 矢部穂乃香（穂栄）
梨平 齋藤 友則（良房）
小綱木 荒海 正樹（真雄）
荒海 凌弥（文弥）
宮澤 璃子（悟志）

群岡小学校 10人

六町内 鈴木 完（宏昌）
八町内 瓜生 咲季（信浩）
九町内一 船橋 風音（政広）
星 菜々美（康浩）
九町内二 船橋 京也（正和）
須藤 柁（秀美）
芝草 玉木 陸（周司）
堀越 横山 京香（武郎）
齋藤 偉佐也（初徳）
齋藤 健成（正喜）
安座 渡部 聖也（和浩）
安部 希（新栄）
安部 真優華（広栄）
佐藤 陸（信英）
柴崎 高橋 麻美（正）
齋藤 真希（範雄）
橋屋 長谷川加奈（勝弘）
戸中 長谷川まい（啓二）
黒沢 渡部 脩斗（紀夫）
渡部 桃菜（盛男）
渡部 浩司（鬼三）
渡部 寛哉（修一）
渡部 美森（森男）
上野尻 五十嵐 旬（学）
市橋 卓磨（修一）
貝沼 柁哉（輝彦）
紫藤 大地（隆彦）
武藤 悠太（勝博）
下野尻 五十嵐 瞳（博幸）
新田日南人（充雄）
宝川 雅楽川弘平（善弘）
小原 裕和（和美）
屋敷 江川 初芽（衛司）



すこやかな生活を応援します

いきいきライフ

仲間と楽しく機能訓練！

～ 自立した生活を目指そう～

機能訓練事業とは？

町では、病気やケガ・老化等により身体のはたらきが低下している人に対し、身体の状態や希望などを確認する調査を行い、身体の状態に応じた適切なサービスを提供しています。

保健センターで行なっている機能訓練は、自立した生活ができ、医師から訓練が必要と認められた人を対象として、月曜日から金曜日まで毎日実施しています。内容は、理学療法士による個別訓練や機械・器具を使った訓練・集団訓練などを行なっています。また、お花見や紅葉狩り・料理教室なども実施しており、参加者の方々から好評を得ています。



仲間と楽しく機能訓練をするみなさん

訓練生の声



佐藤 菊さん
(上小島)

私は、61歳の時にかかった脳梗塞が原因で、右手・右足が不自由になりました。でも、機能訓練に通うようになってからは、体が軽くなりました。訓練を始めて11年が経ちますが、なるべく自分で何でもするように心掛けています。料理・洗濯・畑仕事などもできるようにになりました。また、以前は恥ずかしさから外にも出ず、閉じこもりがちでした。でも、今では、心身ともに調子が良く、どこへでも出かけるようになりました。



雅楽川 武さん
(宝川)

私は、不注意から腕の神経を切ってしまい、左手が不自由になってしまいました。医師から、リハビリを続けるように言われたので、昨年の12月から毎週月曜日、入院時と同じ訓練ができる保健センターに通っています。その成果に、神経が少しずつ伸びてきたことも加わり、腕をひねる動作ができるようになり、ご飯茶碗も持てるようになりました。今度は、親指側の指を動かせるよう、自宅でも継続してリハビリをがんばりたいです。

機能訓練を始めてみませんか

病気や老化のため、身体が動きにくく困っている人には機能訓練をお勧めします。仲間と一緒に楽しく訓練をして、自立した生活を目指しましょう。詳しくは保健センターまでご連絡ください。

【申し込み・問い合わせ先】
保健センター ☎47 2306

あごいな！ おし歯のない子

1月23日、3歳児7名を対象に健康診査を行った結果、むし歯のない子は4名でした。



長谷川 鈴ちゃん
(喜夫・梨平)



赤城 凜香ちゃん
(雅也・松尾)

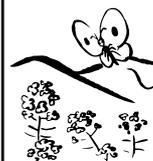


鈴木 茉瑚ちゃん
(信昭・董本)



若林 龍星くん
(和弘・7町内)

まちの話題



西会津中学校の精神を受け継ぎ 93人が卒業

3月12日、西会津中学校では、統合後2回目の卒業式が行われました。

今年西会津中学校を卒業した生徒は、男子55人、女子38人の計93人で、佐藤秀喜校長から一人ひとりに卒業証書とはなむけの言葉が贈られました。

その後、校長式辞に続き、山口町長が「中学校の統合という慣れない環境を克服し、IT関係や外国語の基礎を学んだみなさんは、将来、社会が求める青年に成長していけるものと確信しています」と卒業生の門出を祝いました。

さらに、在校生の岩淵大さんから送辞が、卒業生を代表して三留悠生さんと佐藤聖矢さんが在校生へのエールを込めて答辞を述べると、3年間の思い出が蘇った卒業生の目からは、うっすらと涙がこぼれていました。



各分野で活躍した児童生徒を表彰

平成15年度中に各種コンクールや部活動などで活躍した児童生徒の功績をたたえる町教育顕彰表彰式が、2月27日、西会津中学校で行われました。

受賞された方は次のとおりです。

【個人の部】

上野早紀さん（新郷小学校6年）

6年女子50m平泳ぎの部で県1位

荒井盛佳くん（野沢小学校6年）

県児童作文コンクールで特選受賞

【団体の部】

尾野本小学校

県学校関係緑化コンクールで、ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団理事長賞を受賞

西会津中学校メディア部

NHK杯県中学校放送コンテストラジオ部門で、県中学校放送大賞受賞



長谷川教育長から賞状を受け取る荒井盛佳くん

Out of Bounds



国際交流員
マイケル・レッドヴィンカ

異文化圏に住むことは、とても貴重な経験です。アメリカ人の私にとって、日本の生活を体験できたことはすごく運が良いと思います。ただし、苦労することもあります。そこで、今回は、今までに私が少し苦労したことについて話します。

みなさんは、外国人が日本で生活するとき、何に苦労すると思いますか。多分、食べ物の違いや箸を使うことを思い浮かべるはずですが、でも、多くの場合、このような当たり前のことにはあまり苦労しません。それは、日本に来る前にある程度の情報を調べ、心の準備をしているからです。私の場合、日本料理は大好きだし、箸を使うことも楽しいと思います。本当に苦労するのは、「一緒だろう」と思っていたことが、実際には全く違っているときです。例えば、道路です。私が初めて日本に来たとき（大阪でした）、道路が入り組んでいて細いことにすごく驚きました。迷うことも何度もありました。また、学校の掃除の時間、学生は黙って掃除をしなければならぬということにもビックリしました。アメリカでは、学生は学校の掃除をしません。多くのアメリカ人は、話しをしたり、口笛を吹きながら楽しく掃除をするものだと思っています。このようなカルチャーショックはたくさんあります。



西会津高校生が福祉施設等でボランティア活動

3月17日、西会津高校の生徒が、町内をはじめとする保育所や福祉施設などで、ボランティア活動を行いました。

生徒たちは、自分で活動内容を選んだということもあり、率先してボランティア活動に取り組んでいました。

生徒たちは、これらのボランティア活動を通し、奉仕や福祉の心など、大切なものを学んでいます。

土づくりの大切さを学ぶ

2月28日、町公民館において、土づくりから考える健康講演会が開催され、160人が参加しました。町が、平成10年度から取り組んでいる健康な土づくり。その指導者である農業科学研究所所長の中嶋常允理学博士を講師に招き、『土といのち』と題して行われました。

参加者は、健康な土づくりと、それともなう微量ミネラル成分の重要性、適切な肥料の量など「中嶋農法」について真剣に学んでいました。

また、ほうれん草やトマトなどのミネラル野菜の試食も行われ、参加者は野菜本来の味を再確認していました。

土づくりから考える健康講演

主催：西会津町 後援：西会津町教育委員会・西会津町PTA連携協議会



3日間にわたる熱い戦い

第7回すばいく西会津杯親善ゲートボール大会が3月3日に開会し、町内の老人クラブ47チームが参加しました。

開会式では、齋藤テル子さん(尾野本Bチーム)が力強く選手宣誓し、3日間に及ぶ熱戦の火ぶたが切つて落とされました。

各チームとも、日ごろ練習を重ねてきた成果を十分に発揮しながらゲートボールを楽しんでいました。

なお、試合の結果は次のとおりです。

- 優勝 下野尻B
- 準優勝 寿 A
- 第3位 本町・萱本 A



また、経済的、社会的なことでも同じです。例えば、同じ給料でも、日本はアメリカより労働時間が長いのです。その上、日本の物価は高いので、アメリカほど物を買えません。また、運転免許証を取る場合、日本では約30万円かかりますが、アメリカでは約2千円だけです。このような例はもっとあります。みなさんにとっては当たり前かもしれませんが、私の「当たり前」とは違っています。

私が日本の生活で最も苦労していると思うのは、精神的なことです。最も大きいのは家族から離れていることかもしれませんが、家族はいつも私を支えてくれていました。その他に、言葉でも苦労します。私は日本語を学ぶことは大好きですが、でも、銀行に行ったり、買い物をするという日常生活は、言葉の違いから難しくなり、ストレスが溜まってしまいます。また、体格の違いも苦労することの一つです。私の体に合う服や靴などはあまりありません。その上、店に入ると、周りの人が私の大きさに驚いて、ジロジロとこちらを見ることもあります。そんなとき、普通になりたい!!と強く思います。私は日本が大好きです。そして、ここでの生活は、毎日新しいことを学べるすばらしい『冒険』です。でも、容易なことばかりではありません。それは日本に限らず、異文化圏ならどこでも、生活に馴染むまで苦労すると思います。

今回は、逆に日本からアメリカに移った知人の経験を通して異文化圏の生活について考えてみたいと思います。どうぞ楽しんで。



スポーツのがおり

文化のがおり



生涯学習

学びのがおり



親のありがたさが身にしみる (昨年度の『通学合宿』)

生涯学習の充実を目指して

教育委員会(社会教育課)では、『生涯学習振興計画』に基づき、本年度の重点目標を定め、町民のみなさんの「生きがいづくり」の一助としていただくために、生涯学習の充実に努めます。

【生涯学習活動の推進】

「人間性豊かな人づくり」を進めるために、町民のみなさん一人ひとりが自分に適した生涯学習活動ができる環境づくりと主体的に学習しようとする自己教育力の向上を図りながら、地域づくり、人づくりを進めていきます。

また、活動成果を発表し合い、団体同

士や観覧するみなさんとが交流を深め合える機会として「生涯学習発表会」を開催します。

【学社連携・融合事業の推進】

「自ら学び、自ら考え、自ら行動する」ことができる、生きる力を身に付けた子どもを育てるために、学校教育と社会教育が連携・融合しながら青少年教育に取り組みます。

その一環として、親元を離れて集団生活を体験する『通学合宿』などを行います。

【情報化・国際化社会への対応】

情報化社会への対応としては、町民のみなさんの要望を反映しながら『IT技能(パソコン)講習会』を開催します。

また、国際化社会への対応としては、世界共通語として定着している英語を、身近に感じながら自然と身に付けられる『英会話教室』を開催します。

さらに、国際感覚を磨くため、町内等在住の外国人の方々との交流会を定期的に開催します。

【スポーツの振興と健康づくり】

「町民一人一スポーツ」を合言葉に、みなさんの交流・親睦と健康づくりのため、各種スポーツ大会やニュースポーツ教室などを開催します。

また、誰でも気軽に参加してスポーツを楽しむ『西会津スポーツクラブ(総合型地域スポーツクラブ)』の育成に努めます。

【芸術文化の振興】

伝承芸術の保存と芸術文化の創造活動の支援に努めます。

また、文化財等の調査を進め、貴重な文化遺産の保存や民俗芸能の伝承に努めます。

【青少年教育の推進】

わんぱく塾、ふるさとふれあい教室、キッズ・アートクラブ、新郷少年教室、奥川サタデーキッズクラブなどの活動内容の充実を図ります。

また、西会津中学校町民図書館などを活用して『読み聞かせ講習会』や『おはなしの会』、『おひざにだっこ』の会など、子どもたちの豊かな感性を養う読書活動を推進します。



「お話はオッパイ」これは本当です(おひざにだっこ)の会

一年間の活動成果を発表

3月28日(日)、町公民館大ホールにおいて、「生涯学習発表会」が開催されました。

この発表会には、公民館主催の各種講座や自主的活動を通して生涯学習に取り組んでいる12団体(約50人)が参加し、スポーツ民謡や民舞、社交ダンスなど日ごろの活動成果を披露しました。

少し緊張していた参加者も、和やかな会場の雰囲気助けられ、実力を存分に発揮していました。

参加者からは、「この発表会を目標に、一年間、一生懸命練習してきました。」などの声が聞かれました。

公民館では、平成16年度も引き続き、町民のみなさんの要望に応じた生涯学習の機会を提供していきますので、ぜひ、ご参加ください。



決まりました！1年間の成果です。

西会津スポーツクラブの紹介

クラブの特徴

本町では、「百歳への挑戦」にすべてにやさしい健康のまち「にしあいづ」をキヤッチフレーズに町づくりを進めています。本クラブでも、この方針を受け、いつでも、どこでも、だれでも 楽しいスポーツのまち「にしあいづ」を目指しています。そのため、内容も、勝敗や技術力向上を追い求める競技スポーツ的なものではなく、スポーツ経験の無い人やスポーツから遠ざかっている中高年世代の人でも気軽に取り組める種目が中心となっています。

昨年度の会員数は、4歳から82歳までの129人となっています。



楽しそうですね。本当に楽しいんです。(レクダンス教室)



大切なんですよ。小さいときから(ストレッチ教室)

会員募集

現在、本クラブでは会員を募集しています。

なお、クラブの内容や入会申込方法等については次のとおりです。

【教室名】

- 親子スイミング ウォーキング
- 水中ウォーキング 卓球
- ストレッチ体操 エアロピクス
- グラントゴルフ カローリング
- シヨートテニス ペタンク
- レクリエーションダンス

この他にも、希望する教室があれば事務局までお知らせください。

【年会費】

- 小学生・中学生 2,500円
- 16歳から59歳の方 4,500円
- 60歳以上の方 3,800円

就学前児童・身障者手帳を持っていらっしゃる方には、保険料のみ

年会費には、一年間のスポーツ安全保険料が含まれています。

【申込方法】

町公民館体育振興係、新郷分館、奥川分館に直接次のものを提出してください。なお、申込みは随時受け付けていますが、会員登録までには一週間程度かかりますので早めにお願います。

提出物

- 入会申込書(各公民館に用意してあります。)
- 顔写真(縦2cm×横2.5cm)
- スナップ写真で結構です。
- 年会費(お釣りの無いようにお願いします。)



みなさんの参加待ってます。(エアロピクス教室)

何か不明な点や要望等ありましたら、事務局までお問い合わせください。

【西会津スポーツクラブ事務局】
町公民館体育振興係内

☎ 45 3244

今月号の「郷土史探訪」は、都合によりお休みさせていただきます。

みんなの広場



加藤 恭央さん

(菅本)

渡部忠寛さん(3月号から)メッセージ
夏になったら那須高原でバーベキューをしましょう。

あなたの趣味・特技は？

趣味：釣り
特技：サッカー

自分を一言で表現するとしたら？

めんどくさがりや

熱中していることは？
仕事

あなたのモットーは？

笑う門には福来る

最近感動したことは？
子どもの成長

次の方を紹介してください。

D・Hさん(松尾)



好きな西会津の風景は？
橋屋のテレビ塔から見える風景
(遠足に行ったとき、八手に刺されたのに、なぜかその後何
度も足を運んだ所だから)

上野尻俳句会

文

芸

春の夜の父の息ある古き猪口

小林 佳子

自己主張空いっばいに冬花火

渡部ミツイ

夫の香や靴べらいつ春服に

清野 ふみ

歯をこぼし笑ふ温みや春帽子

渡部由起子

鳥三羽一羽を追ひし春の水

豊島 登山

短歌

春愁やつくねんと猫何思ふ

長澤 幸

幼子を背負いて吾れの手を引きし
母の額の汗は忘れじ

塩出しの蕨わらびの上の薄氷

広瀬ひでお

鈴木秀太郎

私の元気の素

今月は、向原の玉木美智子さんに伺いました。

玉木さんは、昨年8月に始まった食生活改善推進員養成講座である「健康づくりのための食生活教室」に参加し、ほぼ全ての講義に出席。今年の3月3日に修了証書を手にされました。

「食べ物がどのように体に働くのか疑問を持っていました。だから、栄養学を教えてくださいの講座に参加しようと思いました。昨年、退職したことで時間もできませんでしたから...」

60時間中2時間ほど出席できなくて残念でしたが、修了できたのも家族や地域の人の協力のおかげで、感謝しています。今まで、家庭での食事はおいしければ、作ることに責任を果たしたと思っていました。でも、それだけではダメなんだと知りました。食習慣を変えろということは大変だと思いましたが、この講座で学んだ減塩などを家庭でも取り入れていきたいと思っています。」

そんな、玉木さんの元気の素は、「退職後の新たな人生をしっかりと歩めていることです。時間ができて、自分のやりたいことができるようになりました。だから、今までやれなかったことにも挑戦しています。例えば、家での農業や養蜂もそうですけど、常に新しい発見があり、それをすこく楽しんでいきます。それに父との共通の趣味である園芸。植え方や場所などについて話しているとき、私だけでなく父の『元気の素』にもなっています。」



そう話してくれた玉木さんは、今後、食生活推進員として活動することを楽しみにしているそうです。

お知らせ

社会保険に加入しているみなさんへ

4月1日から町内医療機関での乳幼児診療が無料になります

町では、乳幼児の健やかな成長を願い、就学前までの医療費を助成しています。

既に、国民健康保健加入者については、県内の全ての医療機関で保険診療分が無料となっています。

社会保険加入者についても、4月1日から、町内医療機関に限り、保険診療分が無料となりました。

【注意点】

「乳幼児医療費受給資格者証」の提示
必ず医療機関の窓口で「乳幼児医療費受給資格者証」を提示してください。
受給者証の未提示や町外の医療機関で受診した場合

今までどおり、医療機関に医療費を支払い、町に申請することで支払分が助成されます。

なお、詳しくは問い合わせ先まで。

【問い合わせ先】

町民生活課 ☎45 - 2215

西会津診療所

診療時間変更のお知らせ

西会津診療所では、4月5日(月)から
午後の内科検診を再開しました。
午後の診療開始時間 3時30分
整形外科については、これまで同様
午後2時に開始します。

【問い合わせ先】

健康福祉課 ☎45 2214

須刈岳山開きのお知らせ

今年も山開きを開催いたします
ので、ぜひ参加ください。

なお、小学3年以下で参加の場合
は、保護者の同伴をお願いします。

開催日 4月29日(木)みどりの日
集合場所 上野尻西光寺前広場

集合時間 午前8時20分

【問い合わせ先】

須刈岳山開き実行委員会/上野尻
自治区長事務所(小林一磨宅)
☎47 2848

土地・家屋価格等帳簿

縦覧のお知らせ

平成16年度土地・家屋価格等帳簿の縦覧を実施します。次の期間中の縦覧は無料ですが、本人や家族以外の方は委任状が必要となります。

縦覧期間 4月1日～4月30日

(土、日曜、祝日を除く)

午前8時30分～午後5時

縦覧場所 町役場税務課

【問い合わせ先】

税務課 ☎45 2212

4月1日から

高速バスが利用できます

「西会津インター前」バス停留所の開設にともない、4月1日から高速バスが利用できるようになりました。

高速バスは、会津若松・新潟間を1日4往復、西会津・会津若松間(若松直行)を1日2往復しますのでご利用ください。

また、町民バスも4月1日の時刻表改正と合わせて、「西会津インター前」バス停留所まで運行を行います。
詳しくは、問い合わせ先まで。

【問い合わせ先】

会津乗合自動車若松営業所

☎0242 225555

	会津若松方面			野沢方面	
野沢駅前	7:00	16:30	西会津、会津若松線	鶴ヶ城・合同庁舎前	12:40 18:10
蒲生館前	7:01	16:31		神明通り	12:43 18:13
商業団地	7:02	16:32		若松駅前	12:50 18:20
公民館前	7:04	16:34		北柳原	12:52 18:22
東北電力前	7:05	16:35		会津アピオ入口	12:56 18:26
野沢郵便局前	7:06	16:36		石川商店前	13:22 18:52
石川商店前	7:07	16:37		野沢郵便局前	13:23 18:53
会津アピオ入口	7:33	17:03		東北電力前	13:24 18:54
北柳原	7:37	17:07		公民館前	13:25 18:55
若松駅前	7:39	17:09		商業団地	13:26 18:56
神明通り	7:44	17:14		蒲生館前	13:28 18:58
鶴ヶ城・合同庁舎前	7:49	17:19		野沢駅前	13:29 18:59

	新潟方面					会津若松方面				
鶴ヶ城・合同庁舎前	7:35	10:35	14:35	17:35	会津若松、新潟線	万代シティーバスセンター	7:10	10:40	14:10	17:40
神明通り	7:38	10:38	14:38	17:38		新潟駅前	7:15	10:45	14:15	17:45
若松駅前	7:45	10:45	14:45	17:45		川口	7:38	11:08	14:38	18:08
北柳原	7:47	10:47	14:47	17:47		安田インター前	7:50	11:20	14:50	18:20
会津アピオ入口	7:51	10:51	14:51	17:51		三川	8:02	11:32	15:02	18:32
西会津インター前	8:18	11:18	15:18	18:18		津川インター前	8:09	11:39	15:09	18:39
津川インター前	8:42	11:42	15:42	18:42		西会津インター前	8:33	12:03	15:33	19:03
三川	8:49	11:49	15:49	18:49		会津アピオ入口	9:00	12:30	16:00	19:30
安田インター前	9:01	12:01	16:01	19:01		北柳原	9:04	12:34	16:04	19:34
川口	9:13	12:13	16:13	19:13		若松駅前	9:06	12:36	16:06	19:36
新潟駅前	9:36	12:36	16:36	19:36		神明通り	9:11	12:41	16:11	19:41
万代シティーバスセンター	9:39	12:39	16:39	19:39		鶴ヶ城・合同庁舎前	9:16	12:46	16:16	19:46

新潟交通バスセンター案内所
☎025 246 6333
地域振興課 ☎45 2213

戸籍の窓口

■平成16年3月1日現在	前月比
人口 9,054人	- 10人
男 4,406人	- 3人
女 4,648人	- 7人
世帯 2,989世帯	- 1世帯

■2月受付分 敬称略

お誕生おめでとう



橋谷 ^{まさ} 雅行 ^{ゆき} 正和・由美子 1町内
佐藤 ^{りょう} 良実・瑞穂 上野尻

お悔やみ申し上げます

田崎 トミ斗(75) 剛 妻 5町内
渡部 新平(76) 国雄 父 安座
佐藤 豊(90) 勝司 父 白坂
高橋 イチノ(80) 隆夫 母 滑沢
小林 タケ子(82) 十右工門 妻 山浦
矢部 孝(67) 彌生 夫 松峯

4月の納税等

水道料金・下水道料金
インターネット使用料
納期限 4月12日(月)
固定資産税第1期
軽自動車税
納期限 4月30日(金)

今月の
心配ごと相談日

日時 4月7日(水)
27日(火)
午前9時~

場所 老人憩の家

電話 45-4259

休日当番医 《喜多方・会津若松管内》

4月11日

喜多方市 有隣病院 24-5021
(0241) 手代木医院 22-0034
会津若松市 増戸内科医院 25-4876
(0242) いいづかファミリークリニック 32-3330
志波医院 22-0289

18日

喜多方市 佐原病院 22-5321
(0241) ひらの医院 22-3135
会津若松市 そね内科クリニック 33-1024
(0242) わたなベクリニック 24-0506
山口皮ふ科医院 28-9119

25日

喜多方市 県立喜多方病院 22-2181
(0241) 福田耳鼻咽喉科医院 24-4187
会津若松市 佐藤内科循環器科医院 26-2820
(0242) いとう子どもクリニック 27-4601
石田眼科医院 27-0858

29日

喜多方市 小野病院 22-0414
(0241) 藤井医院 23-0023
会津若松市 長谷川内科消化器科医院 22-7180
(0242) 森田小児科医院 27-7686
蛭谷整形外科医院 24-6511

歯科休日当番医 《会津管内》



4月11日

河東町 河東歯科 (0242)75-4899
会津若松市 遠藤(秀)歯科 (0242)26-8210

18日

喜多方市 佐藤歯科 (0241)22-0344
会津若松市 遠藤光雄歯科 (0242)24-2799

25日

塩川町 松崎歯科 (0241)27-4802
会津若松市 大竹歯科 (0242)22-3835

29日

会津坂下町 玉木歯科 (0242)83-4818
会津若松市 おおほり歯科 (0242)25-1110

春の全国交通安全運動

4月6日(火)から4月15日(木)までの10日間

重点1 自転車の安全利用の推進

自転車も基本的に車と同じ交通ルールを守る義務があります。特に一時停止標識のあるところでは、必ず止まって安全確認をしましょう。



重点2 シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

運転席、助手席はもちろん、後部座席でもシートベルトの着用を徹底しましょう。子どもにはチャイルドシートを正しく着用させましょう。



火災の発生しやすい季節です

これからの時季、空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。

特に春先は林野火災が多く発生していますので、野焼きやタバコの投げ捨ては絶対にしないようお願いいたします。

火災は、1人ひとりの注意で防げることから、火の取扱いには十分気をつけましょう。

